

174 夏山山行報告書

もくじ

	ページ
巻頭言	1
剣岳定着合宿	2
北下縦走	14
東北朝日の沢	16
in Summer Tent	18

S N A C

信州大学山岳会 長野山岳部

9月末日

<巻頭言>

今シーズンも10人足らずの部員が精力的に動き回り、
数多くの山行を行なった。唯一つ北下縦走を除いて、
他は全て計画した内容を10.0%達成したといえるだ
ろう。事故が無かったことが何よりも喜ばしい。
夏山で得た体験を活かして今後も活動して欲しい

C.L. 西川義満

< 剣岳岩場定着会 > 8月18日 ~ 8月27日

C.L 西川 義満 S.L 古川 道裕

野口 彰

尾崎 一紀

電和正 彦

小口 徹

福井 修

山本 章

8月18日 SUN ①

黒田ヶ谷 8:15 登 内蔵 12:30 着

8月19日 MON ①

尾崎 小口 先登 6:00 本隊 6:35 出発

ハニゴ 段 越 9:00 真砂 12:30

熊の岩 B.C. 設営 14:10

8月20日 TUE ① 尾根トラス

源治郎尾根

野口, 小口, 福井, 山本

6:35 B.C. 出発

7:20 源治郎尾根 末端

10:00 一峰 11:00 二峰

11:40 新頂上

13:00 B.C. 着 左戻り下降

源治郎尾根の末端のルンゼをみつめて稜線に出る。
ルンゼの中には残置ハーケンが多くあり、内面登山の良い
練習場である。

源治郎一峰 平蔵谷側: face party
・成城大ルート (西川, 宅和)

9:00 取付

11:00 一峰ピーク

源治郎尾根を長治郎側からルンゼ^{せつめて}乗越し, 一峰手前のコルを乗越す。平蔵谷側へ少し下る。トラバースし, 取付に至る。ルート図のハイ松テラス(実はカンバのテラス)から正規の成城大ルートをはずれ, 凹角を直上する。凹角の出口は少しかぶり気味であった。

名古屋大ルート (古川, 川瀬)

9:15 取付

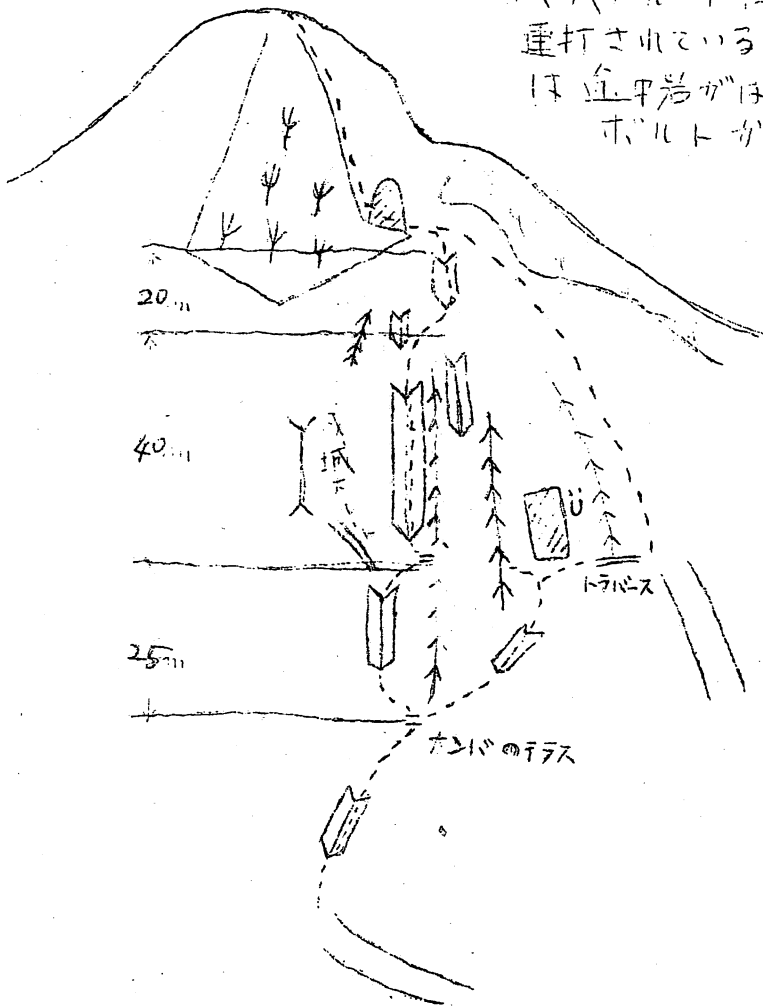
12:30 一峰ピーク

ハイ松テラスから 1pick 成城大を登り過ぎたので, アップガイレンしてハイ松テラスから登り直す。3pick目のハング横の face はルート途中の岩がニヶ所はげ落ちておりハングの下まで引き返し, 右側のルンゼの踏み跡をつめて一峰に到着。

14:15 B.C. 着

2party と共に一峰で合流し, 二峰を下降後, モカチ王 B.C. に帰る。

成城大ルートは、ハークンが
 運打されている。名古屋大ルート
 は、近平岩がほけており、
 ホルトが必要である。



・ B-C. からの登山

A face 魚津高ルート (吉川山本)

14:50 取付 16:00 終了

B face リッジルート (西川福井)

14:50 取付 15:45 終了

C face R.C.C. ルート (宅和小口)

14:55 取付 15:55 終了

8月21日 ① (WED)

• D face ベルニナ ~ チンネ ベルニナ ~ 左稜線上部
(西川, 電和)

6:00 B.C. 発

6:30 取付

7:50 D face 頭

8:50 ミノ窓

9:50 チンネ ベルニナ 取付

12:00 T.S

13:00 チンネの頭

14:00 長次郎のゴルフ, 別山尾根 Party を待つ

• D face 富山大 ~ 左下カンテ ~ 左オカンテ
(古川, 川瀬)

6:00 B.C. 発

6:30 取付

9:00 D face 頭

10:00 ミノ窓

11:00 チンネ 左オカンテ

13:45 チンネの頭

14:30 B.C. 着

左下カンテ取付を間違ひ左オカンテをつめ、
中央バンド左オカンテ下に出た。左オカンテ
をそのまま登ハンせずに、中央バンドよりAバンド
Bクラックを登ハンして終了した。
直接 B.C. に帰天する。

• C face 刺殺会ルート ~
(野口, 福井)

チンネ 中央460 ~
Aバンド Bクラック

6:00 B.C. 発

6:20 取付

7:30 C face の頭

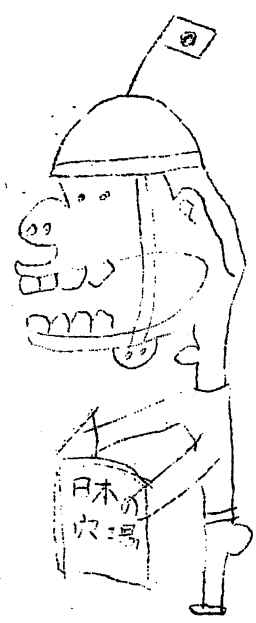
8:50 ミノ窓

9:45 甲斐子に取付
 11:40 十ヶ所頭
 14:00 長次郎のユル, 別山尾根 Party を待つ

別山尾根 Party (尾崎, 山本, 小口)
 6:30 B.C. 着
 7:00 剣沢出合
 7:00 剣山荘
 12:00 剣山頂
 14:00 長次郎のユル
 長次郎のユルに 2 party で北壁を登る

北壁
 L1 (尾崎, 山本)
 14:50 取付 16:10 剣頂上
 L2 (宅和, 小口)
 14:40 取付 16:00 剣頂上
 17:15 2 party B.C. 着

又?
 登山者
 ルートか
 こは?



8月22日 (THU) ① のちかす

- 野口、小口下山
- D face 富山大 ~ 千沢 北条新村 ~ 千ムニ
(宅和、福井) 千ムニ
6:00 B.C. 発
6:20 取付
8:00 D face 頭
10:20 三ノ窓
10:50 取付 (北条新村より 宅和 福井 山本の三人)
14:00 千沢の頭 (尾崎、川瀬と合流)
14:30 B.C. 着

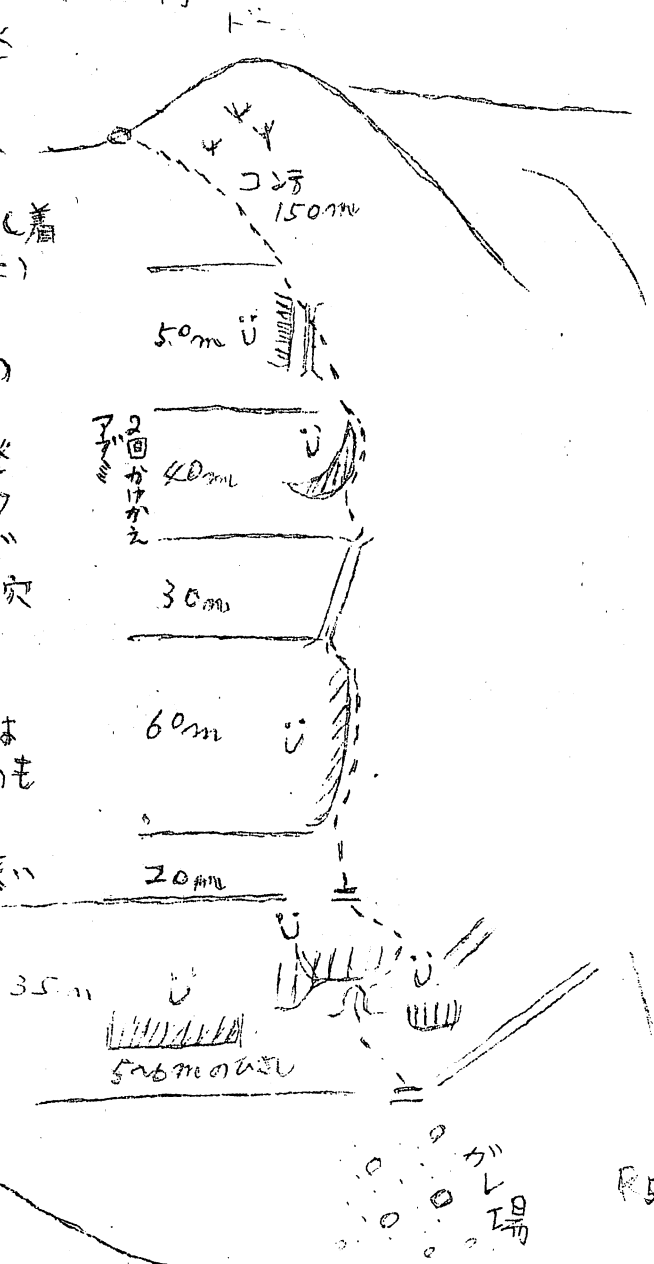
- C face 剣稜会 (尾崎、山本)
6:00 B.C. 発
6:20 取付
8:00 終了
9:00 三ノ窓, 山本は北条新村

- 千沢 左下 ~ 左方 (古川、川せ)
6:30 B.C. 発 (西川、古川、川瀬) の三名で
三ノ窓へ向う)
8:50 取付 西川 三ノ窓で待機
11:00 千沢の頭
左下カンテは時間がなく残り、カンテの左側の
ルンゼを登り 左方カンテから左稜線
へ出た。

① 剣尾根 R4 (西川・古川)

11:50 三ノ窓 登
 12:20 取付
 15:20 ドームの頭
 16:50 剣尾根を
 糸巻足にB.C着
 (Cバックは社)

全ルートを通じ
 ハングの裏側の
 チムニーと狭い
 ルンゼの内面登
 はんであり、フリク
 ションで登れば
 よい。取付の洞穴
 は岩がまろく
 危険である。
 残置ハーケン
 は初登時代のも
 残っていた。
 R4は顕著に狭い
 ルンゼであり
 すぐにはわかる。



左側は雪ヶイ

8月23日 (FRI) ㊟

・池の谷 中央ルンゼ (西川, 宅和)

6:35 B.C. 発

7:45 R2

8:00 コル B.

9:10 H4

11:40 コル A

12:30 剣頂上

13:30 B.C. 着

・ハッ山峰 縦走 Party (尾崎, 吉川, 川瀬, 福井, 山本)

6:50 B.C. 発

7:30 一, 二 山峰 向ルンゼ

11:00 六山峰, 尾崎山本 ひまかえして B.C. へ

12:10 ハッ山峰の頭

13:00 長治郎のコル (西川, 宅和と合流)

13:30 B.C. 着

尾崎, 山本が引き返したのは, 山本がピッケルを紛失したため, ピッケルを捜すために引き返し, 見つけて帰天した。

8月24日 (SAT) ①

・ 剣尾根 (尾崎古川, 川瀬, 宅和, 福井山本)

6:25 B.C. 発

8:15 R10

9:15 JILD 1Pのフェース登ハン

10:40 JILC 3Pに分かれてドームまで行く

12:40 ドームの内集合

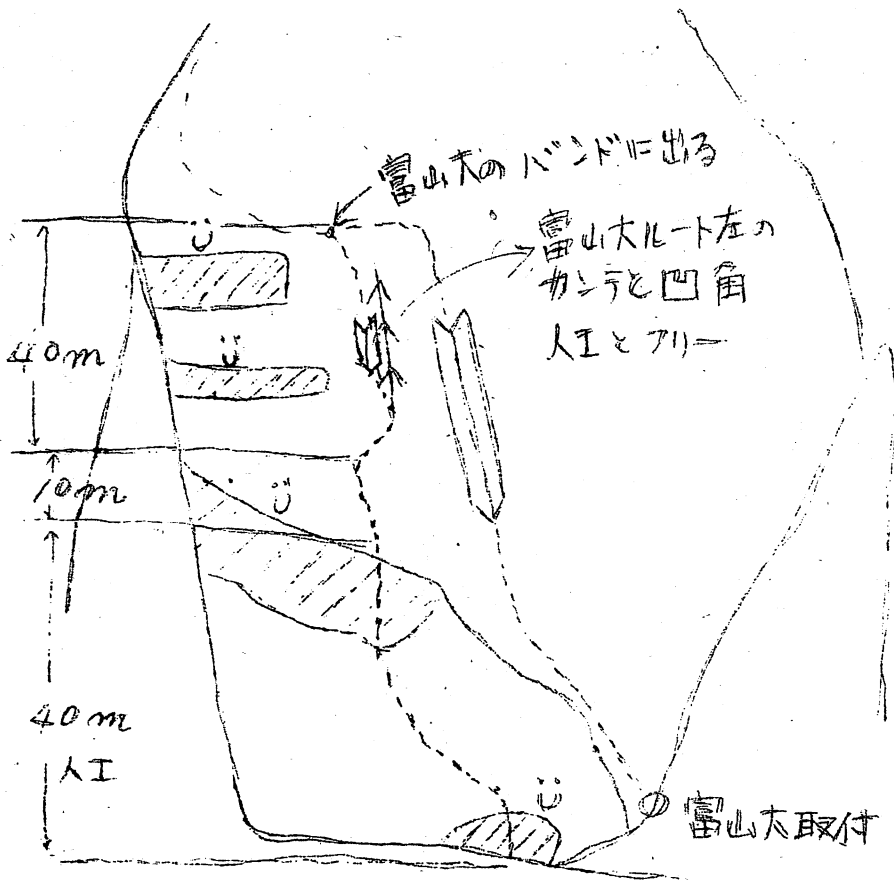
13:45 剣尾根の頭

14:40 B.C. 着

・ D face ダイレクトルート (仮称)

(西川, 宅和)

15:10 取付 17:00 終了



月 25日 (SUN) ㊦ のち ㊦

池の谷 ドーム稜 (古川, 川瀬)

6:35 B.C. 発

7:30 R2

9:15 取付

12:00 剣尾根の頂

13:10 B.C. 着

池の谷 中央産 (西川, 宅和)

のルンセ下降までは上記の party と同じ

9:20 取付

12:30 剣尾根の頂

13:10 B.C. 着 (古川, 川瀬と合流)

2 party とともに途中で雨が降り出し、西川、宅和はシャワータイミングを強いられた。

お鉢回り (尾崎, 福井, 山本)

6:30 B.C. 発

7:20 真砂沢

8:20 三ノ俣

10:10 池の平小ヤ

12:50 小窓

14:00 三ノ窓

15:00 B.C. 着

池の平からトラバースして小窓へ向い、途中岩小ヤで雨やどりなどしたが、結局雨の中を縦走した。

8月26日 (MON) ㊦

沈殿

8月27日 (TUE) ㊦ のち ㊦

・下山

西川 — 剣沢 → 別山乗越 → 雷鳥沢 → 室堂
古川, 山本 — B.C.に残留して Aface 中大ルート
を登ル

尾崎, 実和, 川瀬, 福井

8:00 B.C. 発

8:40 出合

9:00 真砂平

10:10 はしご段 乗越

11:10 内蔵助平

12:20 出合

13:30 黒四ダム

< 定着後の 剣槍 縦走 >

8月27日 (TUE) ㊦ のち ㊦

B.C.撤収後, 古川 山本 残留

Aface 中大ルート 登ル, 後半沈

8月28日 (WED) ㊦

6:00 B.C. 発

6:30 剣沢 出合

8:30 剣沢小屋

13:10 雄山頂上

14:00 一ノ乗越

15:30 龍王の下のコル。

この日は両名とも疲れてほしい予定
の五色まで行けなかった。

8月29日 (THU) ㊦

6:30 コル 出発

8:30 ガラ山峠

9:00 五色ヶ原。五色で全く沈殿して

Essen を軽くしてやった。

8月30日 (FRI) ①
5:30 五色ヶ原 出発
10:20 スコト小屋
13:10 薬師岳頂上 (1時間ほど休む)
15:30 太郎兵衛平

8月31日 (SAT) ① 風強しのち⊗
5:00 太郎兵衛 出発
10:00 黒部五郎のカール
11:30 黒部五郎小屋
台風の接近による強風の中を木倉に向
かて歩く。黒部五郎小屋で雨が
降り始める。

9月1日 (SUN) ⊗
5:00 黒部五郎小屋 発
9:00 又六小屋
12:30 槍ヶ岳 肩の小屋
15:30 横尾
18:30 上高地 Taxiで松本へ
黒部五郎から普通なら沈黙するところを強行軍で上高地へ、暗やみの
中を歩いた。

<縦走合宿> 古川道裕 川津原亨 小口徹 三植敏
山本章

7月20日 ㊦

松本—平岩—蓮華温泉
台風の状況を待つ。

7月21日 ㊦ ㊦

蓮華温泉 → 平馬平 → 練原川 → 白高地沢 → 朝日岳手前
5:00 7:00 8:00 15:00

三植が体調不良の為、朝日まで行かずに天トを張る。
まだツユが明けず、夕方は少々雨が降る。

7月22日 ㊦ ㊦

T.S → 朝日岳 → 小杉ヶ原 → ツバメ岩 → 雪倉岳 → ヒナン小屋
6:00 8:00 9:00 10:00 13:30 14:30

先日に続き三植が遅れ隊のペースに合合わないのは、さりず。
雪倉のヒナン小屋は雪のため押しつぶされておろ。水場は白馬
のほうへ少し下った沢にある。

7月23日 ㊦ ㊦

T.S → 白馬岳頂上 → 白馬ヤリ → 天狗岳小屋
6:00 9:30 12:30 14:00

毎日8時間行動しているけれど予定を消化することが出来ない。
天狗の水場は小屋の水を使用する。無料。

7月24日 ㊦ ㊦

T.S → 不帰 → 唐松岳 → 白岳前の平地
6:00 10:00 11:00 14:00

五竜まで行けず、白岳の手前で天トを張る。三植が途中で
倒れ、連日の疲労が出たものと思われ、これ以上前へ進め
ないので、明日、遠見尾根を下山することを決める。
三植は意識がもうろうとしており、すぐに温かくて飲物を
飲み眠る。

7月 25日 ㊦ 日 強し

T.S. → 五竜小屋天場

14:10

14:50

13:00頃 五竜の小屋から県警の警備員が来て設営禁止を言い渡されたので、三樹が動けたのでしぶしぶ天トを移動する。

五竜の天場には今年は雪が少い為か、また水が無く前日に続き雪を溶かして使う。

7月 26日 〇

T.S. → 遠見小屋 → 遠見スキー場 → 神城 — 松本

6:00

9:00

11:45

先日決定した通りに途中下山とする。

・途中下山に關する私見。

部員の力の集中で山行に値する力があるとしても、少しでも欠けた部分があれば決して成功するものではない。まして、部員の肩に掛かる分力はみんな等しいので、1つでも無くはないはずで、(ま) 今回のような結果に成りかねない。

我々の目指しているのは夏山(岩場も含む)は雪山のつまり冬春の登山の前提であり冬山、春山では一度雪の中に入れれば途中で逃げるのにも多大の力が必要となる。

途中下山を甘々考えでいとも簡単に3行のは厳に慎まなければならぬ。(古川)

——泣くのがイヤなら、まあ歩け! ——

<岩井又川>

期日 8月5日 ~ 8月11日

参加人員 宍和正彦 福井修

8月5日 (MON) ①

長野 ~~==~~ 村上 == 三面ダム
7:09 13:10 13:58

8月6日 (TUE) ①

三面ダム → 三面部落 → 岩魚沢対岸 → 岩井又川出合 → モカバ沢出合 (T.S)
8:30 10:30 12:25 15:15 16:30

三面ダムから船徒歩ロケと奥三面ダムまで行く。岩魚沢を岩井又川とまちかえ、対岸に徒渉する。三面川左岸は標高300m程に岩井又川へ進む。岩井又川出合少し上流にあり、川幅は広く、木々までの徒渉で左岸右岸に渡り、モカバ沢出合 300m上流にツェルトを張る。ツル糸をたれたが、17+はつれずかた。

8月7日 (WED) ② ~ ③

T.S → 水上沢上流の滝 → 大上戸沢手前 (T.S)
6:30 10:30 15:30

朝から小雨が降っていたが、たまたまは原因で出発する。カバ沢先に左岸から垂壁が張り出してあり、右岸を高く、しばらく飯と小橋下に出、左岸を行く。水上沢出合の少し上流に約4mの滝があり、左岸を登る。こぼり音。ワカバ沢出合からは川幅広くなり、砂地となる。90°曲がっている所から左岸に60°ぐらいの壁が高さ100m位まであり、そこから雷竹があらわれる。廊下となり左岸を行く。ウチゴエ沢は30mの滑滝となり本谷に落ち、その下を通る。廊下となり4mの滝があり、右岸を高く、雨が強く水量が増す。ガイルを張り、徒渉する。大上戸沢出合の手前にツェルトをはる。

8月8日 (THU) ④ ~ ①

昨日からの雨がぬれず徒渉も困難なので沈殿。

8月9日 (FRI) ①、②

(T.S)
T.S → 畑沢出合 → 中俣沢 → 東俣沢 → 竜門沢の二俣
5:30 7:50 12:00 3:30

水量を少し減らして出発。小滝を二つ越すと、浅瀬になり、畑沢出合まで簡単に行く。廊下が約50m、川は、右岸をへぐる。滝を一つ越し、しばらく行くと、雪氷が現われ、川上を行くが、途中からスグズグに切れており、左岸、右岸も行けずらい。西、俣沢出合あたりから、中、俣沢出合の少し上流まで大きく高まる。中、俣沢にあり、かきを持ち、滝を四つほど、右岸に高まる。5mの滝、15mの滝を連続し、東俣沢、竜門沢の二俣にツェルトを張る。

8月10日 (SAT) ①

T.S → 竜門山手前 → 大朝日岳 → 竜門山 → 狐穴小屋
5:30 9:30 11:00 13:10 15:15

二俣より、東俣沢にはっきり、竜門山につき上げている沢を登る。ツメのツググと、竜門山頂、200m北に出る。ここには荷をおき、大朝日岳までピストンする。沢と違って、暑い稜線と、狐穴小屋まで足をのびる。

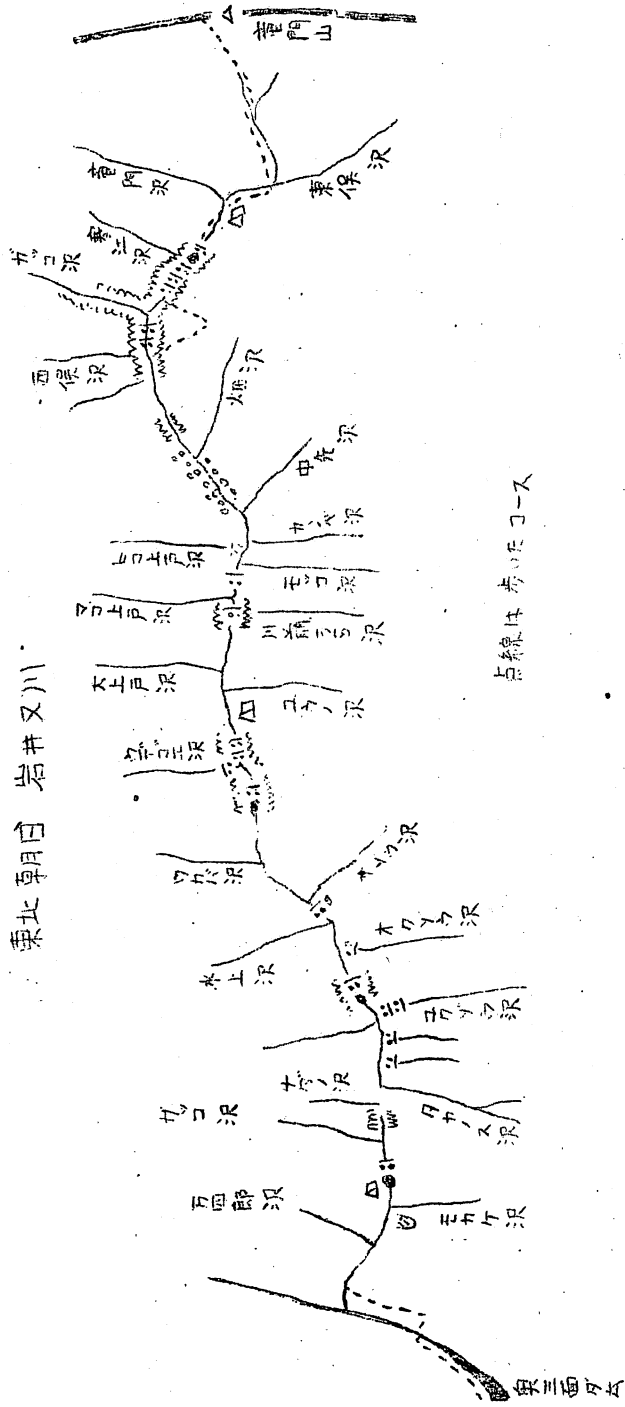
8月11日 (SUN) ①

狐穴小屋 → 以原岳 → オツホ岳 → 大鳥池 → 大鳥部落
5:35 6:35 7:30 9:00 14:00

軽いザックを背負い、せせと歩く。林道ではトラックに乘せてもらう。大鳥部落で無事を祝う。鶴岡着 14:30

溯行図は裏

東北朝白岩井又川



< SUMMER TENT からの山行 >

○ 穴毛谷 赤牛岳 双六谷 赤牛岳

期日 7月23日 ~ 7月28日

参加者 野口 彰 宅和正彦

7月23日 ㊟ 晴 ①

S.T → 西穂山荘 → 新穂高 → 穴毛谷入口
 8:30 12:30 14:00 16:00

0-7°ウエにて新穂高に下る。

7月24日 ㊟ ~ ㊟

穴毛谷入口 → 五沢入口 → 播磨平 → 笠ヶ岳 → 笠ヶ岳山荘
 5:30 8:00 12:00 13:30 14:00

穴毛谷は三沢出合から雪がつかっている。五沢下4で荷を
 7リ上げ左岸直登。笠ヶ岳山荘あたりで雨が降り出したので
 ツェルトを張る。

7月25日 ㊟ ~ ①

T.S → 抜戸岳 → 大ノノ乗越 → 双六谷 → 双六谷途中
 7:00 9:00 12:00 12:30 15:00 (T.S)

大ノノ乗越から直接双六谷に下る。双六谷は悪場なし。

7月26日 ①

双六谷(T.S) → 九郎右衛門沢出合 → 黒部乗越 → 祖父平
 5:30 8:00 12:00 14:00

九郎右衛門沢出合の滝(20m)は少し蓮華谷へ登り、小さな心
 ざから屋根を越し沢に落ち立つ。黒部乗越から五郎沢を下り
 祖父平にツェルトを張る。

7月27日 ①

T.S → 雲平 → 祖父岳 → 水晶岳 → 赤牛岳 → 栗沢出合
 5:00 8:00 9:00 11:00 14:00 17:00

祖父平に祖父沢を登る。

7月28日 ①

T.S → 平渡場 → 黒部ダム → 大町
 4:40 6:10 9:00

又白定着 個人山行

期日 7月11日 ~ 7月14日

参加者 C.L. 古川 道裕 SL 吉田 秀樹
宅和 正彦 川瀬 亨
須貝 与志明 山本 章

7月11日 ㊟

S.T.の荷物と共に マイワロバスで 入山

7月12日 ㊟

S.T. → 又白池

6:00 11:30

午前中に 又白池まで 歩行 午後から 登山する。

宅和・山本 Party

北壁 下部 コンタクトルート 上部 北壁ルート → Aフェース

取り付き 12:40 前穂 14:45

2人で A沢 下降

古川・須貝 P

北条・新村ルート 取り付き 12:00 終了 14:50

吉田・川瀬 P

松高ルート 取り付き 11:45 終了 13:35

古川 P, 吉田 P, A沢 下降

7月13日 ㊟

吉田・宅和 P

北条・新村ルート 6:25 ~ 8:50 3.4のコンクリ 下降

甲南 ルート 10:30 ~ 11:50 前穂 刈 A沢 下降

古川・須貝 P

松高ルート 7:00 ~ 9:15

川瀬・山本 P

五峰 リッジ 7:00 ~ 10:30

} 前穂 刈 A沢 下降

7月14日 ㊟

又白池 → S.T. 雨の中を 下山

○ 穂高岳の連続登攀

尾花岩^{ニシ}～流谷～お森東壁

メンバー 西川義満(T.4) 川瀬亨(T.2)

時 8月2日～8月4日

<行動概要>

8/2. ST 5時に出発。素晴らしい快晴である。横尾谷からルンゼの折れ出しをつめていくと5日分の食糧を詰めかけたかきかこにE22(3)。T4尾根末端には鉄雪が少なく、ノラバーとして右岸に取りつく(10時)。右斜上をフェース5Pで東壁に走るバンドの高さに達する。ここから谷をE5P、内面登攀を主として登り、緩傾斜帯に抜ける。核心部に入ったと下り、機銃操射の跡は落石に蓋い大に肝を冷やす。緩傾斜帯では右へスラブの中央にルートを決めたが、2Pで行きつり、アッガイレンで引き返す。左端の岩クズの上を登っていくと、やがて右前方に白い下をなすピナクルが現れ、その左のルンゼから裏を登って稜線に出た(20時)。

月明りの下、最後のコルから洞沢へ下り、青野氏のテントに入る(100時半)

8/3 洞沢を出たのは8時40分であった。今日は好天、南稜を登るとすっかり汗ばんでしまう。南稜上部の青野氏の別荘に荷を下ろし、ゆとり休む。12時近くになって流谷に向う。PIフランヤの早下ルートを登ってテントに戻った。このルートは快適であった。

8/4 北ホから稜線通してお森まで行く(9時)。北尾根を3.4のコルまで下り、右岩稜からAフェースを登る。お森ピークでウイスキーを飲んで出発(14時)。岳沢から上高地へ下った。

○ 屏風岩の雲梯会ルート

メンバー 渡部光則、高橋樹治、西川義満
時 8月15日

伊那の渡部、高橋、西川の「屏風から右岩壁」の屏風岩をリ一結に連れ
て行ってもらいました。

お夜下くさんお酒を飲んで宿酔で5時に登りました。一
丁の押出しに登って汗をかくと少しづつ酔がさめてきました。T4及び
T5登るのに一時間待ちました。T4でも2時間待ちました。お盆の15日
だから岩場が混雑するのは当たり前のことです。T4が最後になった
ころやっと順番がきて登りました。雲梯会ルートは大した困難も
なく、3人で4時間半要しました。屏風の頭で暗くなりランタをつけ
ました。(7時半) 最低コルで二人と別れて、一人徳沢へと下りましたか
らとても恐しかったです。走りに走ってSTに降りついたのは10時半でした。

(西川)

○ SILINCA 7/20 安和、古橋、梅野、佐竹

○ 奥赤南嶽 7/22 安和、藤元

○ 霞沢岳(八衛門沢) 7/31 秋田、福井

○ SILINCA 7/30 西川、山本、岡本